

問 題		得点率	問 題		得点率
		(%)			(%)
1	問 一	96.8	2	問 一	66.3
	問 二	63.2		問 二	28.4
	問 三	36.8		問 三 (一)	98.9
	問 四	43.1		(二) I	79.3
	問 五	18.4		II	82.7
	問 六	44.6		III	99.8
	問 七 A	81.5		IV	57.9
	B	56.3		問 四	24.0
	C	49.7		問 五	61.5
	D	70.2		問 六	49.4
	問 八 ア	88.2		問 七 A	91.6
	イ	61.7		B	93.4
	ウ	95.0		C	77.7
	エ	85.4		D	55.4
	オ	83.6		問 八	23.9
問 九		74.7			

合格者最高点 83
合格者最低点 36

1 出典：(【文章Ⅰ】・【文章Ⅱ】・【文章Ⅲ】)宮坂道夫『対話と承認のケア-ナラティブが生み出す世界』

- 問一 選択肢問題です。傍線部(1)の内容を適切かつ詳しく言い換えた表現を一つ選びます。イが正解になります。ア「…一般論は、…浸透しきれていない」、ウ「医師は…患者の生活機能の領域や人生史についての…身に付けている」、エ「…『問診』を行っているので、…聞きだすことに苦労はなく」がそれぞれ誤りです。ほぼ全員が正解しています。
- 問二 3行記述問題です。傍線部(2)より、「疾患」と「病い」の違いを説明します。本文のここまでの内容から、「疾患」とは「問診や検査結果などの情報を医学的な知識体系と照らし合わせて診断したもの」、「病い」とは「患者が五感を通して感じ、その意味を自分なりにとらえたもの」、これら二点を書けば正解となります。こちらもしっかりと二つの内容を分けて説明できている答案が多いようでした。よくできています。
- 問三 4行記述問題です。【文章Ⅰ】と【文章Ⅱ】を踏まえて、患者が傍線部(3)から・傍線部(4)へ変化した理由をまとめます。ここで問われているのは、医師が患者に対し「医学的ナラティブ」から「解釈的ナラティブ・アプローチ」へと変わったことです。従って、「検査結果や治療方針などの医学的ナラティブにもとづく話」→「治療に対する患者の納得できない気持ちをくみとり、CT検査を提案した」という要素を取り出すことができれば正解になります。変化について述べたもので、比較的理解ができている答案が多いようでした。【文章Ⅰ】と関連させて書くことができていない答案もやや目立ちました。
- 問四 【文章Ⅱ】の波線部 a～fの中から、本文で中心となる「ナラティブ・アプローチ」(ここでは「解釈的ナラティブ・アプローチ」)に相当する会話文を2つ抜き出す問題です。患者の納得できない気持ちを推察して考えよう(患者の視点で病像を理解しよう)としている2つを選びます。正解はcとdです。aもbも患者に明確な言葉で述べているので当てはまりません。eは単に患者の考えを聞くだけの質問なので当てはまりません。fは患者に最終的な決断を直接求めている箇所なので、これも当てはまりません。両方とも正解だった答案は少なかったようです。
- 問五 2行記述問題です。【文章Ⅲ】傍線部(5)より、「ケアする側とケアされる側が真に同じ地平に立てるための要件」をまとめます。【文章Ⅲ】では、ロボットが「いずれ死んでしまう存在」であるほうが、そうでないロボットより患者は耳を傾けてくれるという説明の後、「ケア者の側の死の可能性が、病いを抱える人へのケアを真に成り立たせる要件」という箇所が出てきますから、これらをまとめて書けば正解となります。188行目～191行目の「ロジャースら」や「シャロン」の言葉を引用するだけでは、「ケアする側」「ケアされる側」について言及したことにはならないので、解答として成り立ちません。こ

を書いてしまった答案が多かったようです。

問六 脱文補充問題です。《つまり、いずれ壊れてしまう…、この仮説である。》を入れる箇所は、《え》になります。次の段落冒頭に「もしもこの仮説が正しければ、…」とあるので、そこにつながっていきます。《う》や《お》の誤答がやや見られました。

問七 接続語問題です。【A】は逆接の「しかし」、【B】は順接の「したがって」、【C】は言い換えの「つまり」、【D】は対比の「これに対して」がそれぞれ入ります。【B】に「つまり」を入れてしまった答案がやや見られました。直後「つまり」があるので(「つまり」が重複します)、表現として不適切になり、誤りです。

問八 漢字問題です。ア「投入」、イ「適否」、ウ「改善」、エ「補」、オ「来歴」です。楷書で丁寧を書く練習を日頃からしておきましょう。ほぼ全員よく書けていました。イ「適否」の書けていない答案がやや目立ちました。

問九 内容一致問題です。【文章Ⅰ】と【文章Ⅲ】の内容に合うものを1つ選びます。正解はエです。アは「自分の経験に基づいた一般論に流されがち」、イは「ケアされる側にも深い人間理解が求められている」、ウは「『気づかい』…基盤としているため、ヘルスケアについては限界がある」、がそれぞれ誤りです。よく正解を選ぶことができます。

2 出典：高瀬隼子『新しい恋愛』

問一 選択肢問題です。傍線部(1)より、「知星」が「ロマンチックが嫌」と考える理由として最もふさわしいものを一つ選びます。正解はウです。ア「一緒に住んで生活をともにする準備を真剣に進めてほしい」、イ「飾り気のない素直な言葉であるべきだ」、エ「制御の外に出てしまう自分自身をようやく受容できるようになり」、がそれぞれ誤りです。よく正解を選ぶことができます。

問二 3行記述問題です。傍線部(2)から、「知星」は「美寧々」のどういう点に「感心」したのかを説明します。「美寧々」は「はっとした表情を浮かべて」「結婚はしないままという関係を選ぶ人もいる」ということを言い添えます。つまり「美寧々」は、自分の中学、家での姉や義兄たちの会話、「美寧々」が触れるコンテンツからのメッセージ、これらからすでにそのことを学んでいるのだろう、と「知星」は理解したのです。これらをまとめれば正解になります。「反抗期なのに大人の教えを受け入れている」などの誤答がやや目立ちました。また美寧々の会話文はそのまま引用して書くのではなく、解答表現として置き換えて書いてほしいところです。

問三 (一)は語句問題です。傍線部(3)「頭を巡らせた」は、「あれこれと考えを働かせた」のエが正解です。(二)は「頭」を使った慣用句やことわざについて、空欄に入れるひらがなを書く問題です。「頭を【Ⅰ】」には「かかえる」、「頭が【Ⅱ】」には「さがる」、「頭隠して【Ⅲ】隠さず」には「しり」、「頭【Ⅳ】」には「ごなし」がそれぞれ入ります。正答率は高く、語句問題をよく練習してきているのがわかります。「頭ごなし」が最も低い正答率でした。

問四 3行記述問題です。傍線部(4)から「知星」の気持ちを説明します。大人の「知星」が子どもの「美寧々」に「諭されている」という表現から、「恥づかしい」「情けない」などの心情が読み取れます。そしてそれは「美寧々」に「『遥矢』の言葉は好きを好き以外の言葉で言い換えているだけなので、ロマンチックすぎるなどと嫌がらず素直に受け止めるべきだ」という正論をはっきりと言われてしまったからです。ここをまとめれば正解です。「恥づかしい・情けない」はよく書けていましたが、「遥矢の気持ちを素直に受け止めるべき」という点があまり書けていないようでした。

問五 4行記述問題です。傍線部(5)の「今一番新しい恋愛」について、そうではない恋愛と比較しながら説明します。「美寧々」の会話文から、「美寧々」は、「出会う前から条件を設定して、条件が合う人とだけ出会うマッチング恋愛」ではなく、「条件は設定せず、相手を大切に思う気持ちをしっかりと伝え、直接広く出会いながら、本当にその人と一緒に生活したいと思える人が見つければ関係を深める恋愛」を求めていることがわかります。これらをまとめれば正解になります。美寧々の考える「新しい恋愛」について「マッチング恋愛」と比較する形でよく書けていました。配点も高いので、高得点の答案もかなりありました。

問六 選択肢問題です。傍線部(6)から、「知星」の心情を読み取ります。「覚悟を決めて美寧々に同意」というのは、本音を言うことと将来のある「美寧々」を否定することになるので、あえて「同意した」と読むことができます。従って正解はイです。ア「…心に浸透しているわけではないために、…」、ウ「長く生きていると『条件の設定』へと移行することに気づくはずだが」、エ「『今一番新しい』という恋愛の仕方を実践しているので、…尊重する方が、大人として正しい態度」、がそれぞれ誤りで

す。比較的よくできていましたが、エの誤答も多かったようです。本文は、恋愛について「学校で習ったこと」を語る「美寧々」に、感心しながらもやや冷めた立場で眺める「知星」の心情が中心です。

問七 擬音語・擬態語等の語句問題です。Aは「ぽかんとわたしをみつめた。」、Bは「美寧々の目がぽっと輝いた。」、Cは「きっぱりとした口調だった。」が入ります。よくできています。Dについては、ここは「恋人同士なのに、友人同士のような関係」という文脈ですから、「友人同士のようなカラッとした空気があって」となります。やや見られた誤答としてDに「友人同士のようなふっくらとした空気があって」というものがありました。

問八 内容一致問題です。正解はエです。アは『『新しい恋愛』のあり方が人々の間にもっと浸透すべきだと強く感じた」、ウは「改めて恋愛を学び直そうと思った」、がそれぞれ誤りです。イは『『知星』は…考えたこともなかったことに気づき、深くため息をついたあと、…』は誤りです。「ため息」をついたのは「美寧々」です。アとウの誤答がやや目立ちました。「知星」は「美寧々」の考える「新しい恋愛」には否定的ですが、その言葉を「美寧々」にかけることはふさわしくないと感じました。だから「美寧々」の考えを「そうだと思う」とあえて受け止めたのです。本文の「知星」は、恋愛に関しては、「遥矢」とうまくいっているとはいえ、今までの失敗の経験から慎重になっていることが読み取れます。「改めて恋愛を学び直そう」と決意したわけではありません。